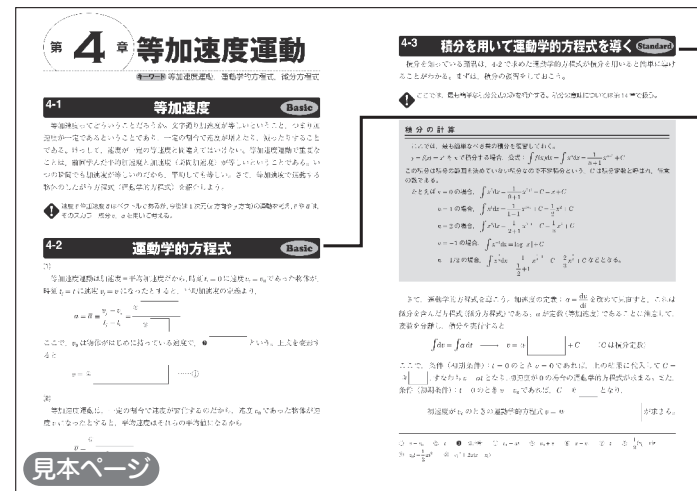


本書の使い方

章の構成

第1章～第26章と総合演習Ⅰ～Ⅳで構成されており、合計30章で「力学の基礎」を学習できるようになっています。また、学習をする際の目安となるように、それぞれの節の見出しには **Basic** もしくは **Standard** の目印がつけられています。



Basic : 必ず身につけなければならない項目で、物理の入門者はじっくりと取り組んでください。

Standard : 身につけるのが望ましい項目で、物理の心得のある人は積極的に取り組んでください。

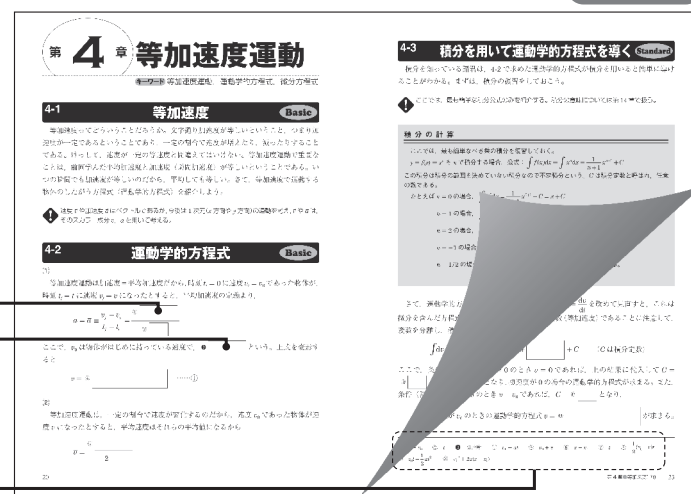
“穴埋め式”の活用

各節の説明部分は“穴埋め式”となっており、説明文中の重要な語句、事柄、公式などが **空欄** にしてあります。文章をよく読み自分で空欄を埋めて本書を完成させてください。

白丸番号 ① **空欄** には、数字、記号、数式が入ります。

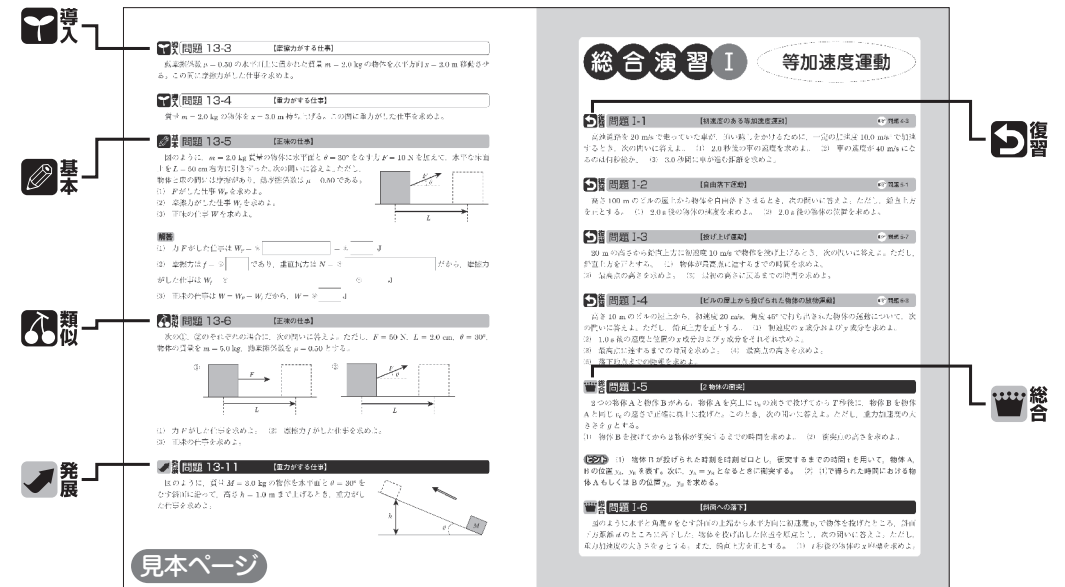
黒丸番号 ② **空欄** には、語句(言葉)が入ります。

なお、空欄の解答が目に入らないように工夫しました。基本的に、次の奇数ページの下に「解答」を記載しています。



演習問題の構成

代表的な問題や重要な問題も“穴埋め式”になっています。単に空欄を埋め、答えを得ることに終始するのではなく、解答や解法の「形(かたち)」も合わせて学習してください。“穴埋め式”の問題を含めて、本書には6種類の演習問題が用意されています。演習問題は類似した問題が多く、単調に思えるかもしれませんが、基礎をしっかりと身につけるために粘り強く繰り返し練習してください。問題の種類はアイコンで区別されています。演習問題の解答は章末にあります。



- 導入** 導入問題：公式や基礎・基本を確認する問題です。
- 基本** 基本問題：必ず解答できるようになるべき問題です。
- 類似** 類似問題：基本問題の類題です。基本問題の解答力UPを目指して取り組んでください。
- 発展** 発展問題：基本問題を少し発展させた問題です。ぜひ挑戦してみてください。

- 復習** 復習問題：総合演習のページで登場するアイコンです。各章で練習した基本問題の類題です。必ず解答できるようにしてください。
- 総合** 総合問題：総合演習のページで登場するアイコンです。本書の中では最も難しい応用問題です。ぜひ挑戦してみてください。

数値の計算について(関数電卓のすすめ)

入門者の理解を助けるために、演習問題のほとんどは最終的に数値で答えるようになっていますが、まずは文字式で計算し最後に数値を代入するようにしてください。文字式の計算が苦手な人もいると思いますが、途中で数値を代入してしまうと、その意味が逆にわかりにくくなり、物理学の修得の妨げになることがあります。数値計算は日常で使う電卓でもできる部分もありますが、関数電卓を用いてください。関数電卓は理系必須のアイテムですから、常に携帯することをおすすめします。